

## 第5回 東アジア U-22 ハンドボール選手権 試合結果・戦評報告書

競技日	7月2日(日)	試合番号	W10		
種別	女子	会場	花巻市総合体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
韓国			日本		
得点合計	小計		小計	得点合計	
<b>24</b>	13	前半	10	<b>20</b>	
	11	後半	10		

### 戦評

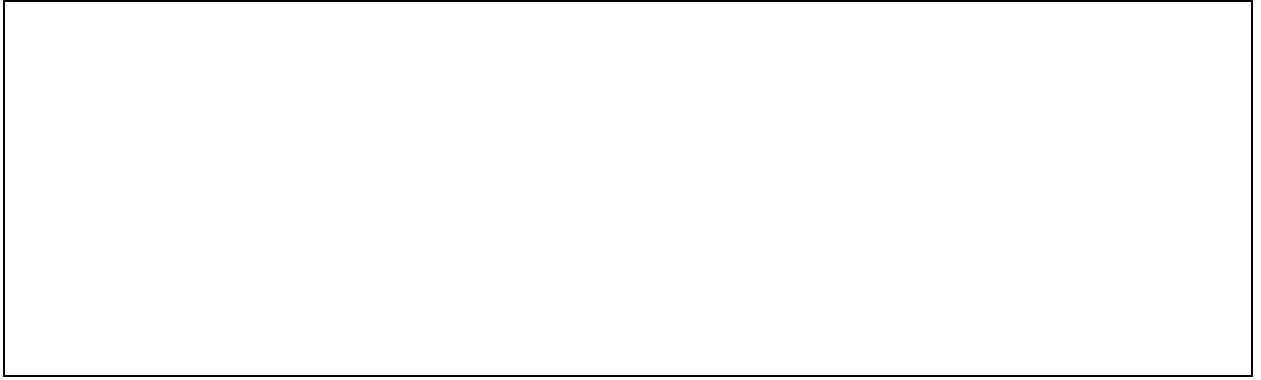
7日間におよぶ熱戦を繰り広げてきた第5回東アジアU-22ハンドボール選手権大会も最終戦となった。全勝の韓国(KOR)に2勝1敗で追う日本(JPN)。どちらも優勝への大事な一戦となった。

1000人を超える観客の中、KORのスローオフで試合が始まる。⑳SHINのセンターからのカットインで先制したKORは前半5分まで3連続得点をし、3-0とし試合を優位にすすめた。それに対しJPNはKOR積極的な6:0DFに攻めあぐみ、なかなか得点へつなぐことができずにいたが、前半5:21のタイムアウト直後、㉑大松澤のシュートが決まり、1-3とした。その後、JPNの6:0DFが機能し始め、KORとの一進一退の攻防となった。前半終了間際、左サイド㉒吉留が角度のないところからサイドシュートを決め、3点差で前半を終了した。

㉓相澤のカットインの得点で後半がスタートした。KORは速い球回しでJPNのDFを崩し、㉔MOOMのミドルシュートで加点し日本の追撃をさせなかった。JPNは㉕GK榎の7mスロー阻止の好セーブ等でKORに攻撃をしのいだが、KOR㉖GKのKIMの好セーブで得点を縮めることができないまま後半の終盤を迎えた。

試合終了まで、果敢に攻め、㉗尾辻、㉘中山らが得点をしたが、最後まで、主導権を握り、優位に試合を進めたKORの勝利となった。

その結果、KORが全勝による優勝をつかみ大会の女子の日程が終了した



いわて花巻